

『心に残る文化財子ども塾』学習指導案

日 時：平成 30 年 7 月 2 日（月）

6 年生 14:00～15:30（5・6 校時）

大仏パネル準備 13:00～

場 所：松江市立鹿島東小学校（ミーティングルーム・体育館）

対象者：同校 6 年 11 名

指導者：・鹿島東小……橋本吉修

・古代文化 C…原田敏照、倉恒康一、佐藤雄一

1. 主題

松江市鹿島町内の古代遺跡について

体験：大仏パネル製作

2. ねらい

- ・地域の歴史・文化財を素材とした歴史学習を通し、郷土の歴史や文化に対する興味、関心を高める。
- ・大仏について体験的に学び、奈良時代に対する理解を深める。

3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
A：座学（45分間） ミーティングルーム	
①講師紹介と本時の流れを確認する。 （5分）	・担任、古代C 原田 が担当 ・講師紹介及び古代文化センターの仕事紹介 ・見通しをもって本時の学習ができるように学習内容を知らせる。
②鹿島地域の遺跡（10分） ○鹿島地域の身近で代表的な遺跡紹介	・②・③は視覚的にイメージしやすいよう配慮。【パワーポ使用】②担当： 原田
③奈良の大仏と奈良時代について(20分) ○大仏が造られた時代とその背景 ○その時、出雲は、鹿島は。	・奈良時代の国内の様子について、事前の社会科の授業で学習をしておく（児童）。 ③担当： 佐藤
④実際の遺物を観察（10分） ○県内の縄文～奈良時代の出土品を観察する	・出土品の破損等がないよう、観察上の注意点を事前に説明する。 ④担当： 原田
【休憩・移動】（10分）	

<p>B：体験（45分間） 体育館</p> <p>①奈良の大仏について学ぶ。（5分） ○大仏の大きさやその製作技術について説明</p> <p>②体験の内容について説明する。（5分） ○手順、注意点を説明してイメージをもたせる</p> <p>③大仏パネルの組み立て体験（30分） ○工程ごとに説明を聞きながら、各人が協力して作業をおこなう ○台座→足→胴体→頭へと組み立てる ○体育館の2階から完成状況を確認</p> <p>④学習のまとめ(5分間) ○感想等の発表、アンケート記入 ○生徒代表お礼の言葉</p> <p>⑤片づけ（5分間）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本教諭 ・古代C倉恒（原田、佐藤）が担当。 ・見通しをもって本時の学習ができるように学習内容を知らせる。 ・鹿島の遺跡及び大仏について、事前に社会科の授業で学習しておく。 ・大仏パネル組み立て時には、靴は脱ぐ。 ・児童生徒が協力して作業する ・原田、倉恒、佐藤は巡回指導 ・大仏の大きさを体感し、当時の人々への思いを馳せるようにする （安全に2階へ行けるか確認） ・学習がより深まるように、ふりかえる。 ・パネルの端が傷まないように、袋に納める
--	--

4. 準備物等

- ・小学校 長机（出土資料用）、パソコン、プロジェクター
- ・古代文化センター 大仏パネルセット
実物の出土品資料（埋文C所蔵品：土器、石器、玉類）
パワーポイントデータ（CD）、配布資料、アンケート用紙、カメラ

5. 服装・・・動きやすい服装。 **（体育館では靴は履かない）**

6. その他 埋蔵文化財調査センターHPで、「文化財子ども塾」の学習状況写真を公開することがあります。（別途相談）